

第2次八代市総合計画第1期基本計画

(平成30年度～令和3年度)

重点戦略に係る取組内容等総括表

重点戦略3 誰もが幸せを実感できる暮らしの実現	
取組①	幼稚園、小・中学校の普通教室にエアコンの設置
取組②	高齢者・障がい者などを見守る体制の充実
取組③	高校3年生までの医療費無料化の実現
取組④	「健康づくり応援ポイント制度」による健康づくりへの支援
取組⑤	「熊本県立県南高等支援学校（校名案：熊本県立鏡わかあゆ高等支援学校）」の誘致を実現
取組⑥	「八代市学校・子ども教育応援基金」の創設
取組⑦	小学校の英語教育の充実
取組⑧	産後ケア事業の導入
取組⑨	学校施設の非構造部材の完全耐震化
取組⑩	「子育て世代包括支援センター」による支援体制の強化
取組⑪	多文化共生社会の実現

第2次八代市総合計画第1期基本計画（平成30年度～令和3年度）

重点戦略に係る取組内容等総括表

重点戦略	3 誰もが幸せを実感できる暮らしの実現
重点戦略	① 幼稚園、小・中学校の普通教室にエアコンの設置
重点戦略	夏・冬季における児童・生徒などの健康維持と学習しやすい教育環境を確保するため、幼稚園、小学校、中学校の普通教室などに、エアコンの設置を進めます。

担当部	重点取組の4年間の総括及び今後の展望
教育部	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度で普通教室への空調設備の設置は完了した（全46施設のうち未整備の小学校23校、中学校15校、幼稚園6園を整備）。しかしながら、小学校35人学級の段階的な整備により、学校によっては普通教室が増加するため、空調設備の追加設置が必要となる。 今後、普通教室以外の特別教室への空調設備設置を検討し、必要に応じて設置する。

■ 第1期基本計画で位置付けられた施策とその成果指標

施策名①		施策名②			
施策なし		-			
指標名		H30	R1	R2	R3
指標なし	計画値	-	-	-	-
	実績値	-	-	-	-

第2次八代市総合計画第1期基本計画（平成30年度～令和3年度）

重点戦略に係る取組内容等総括表

重点戦略	3 誰もが幸せを実感できる暮らしの実現
重点戦略	② 高齢者・障がい者などを見守る体制の充実
重点戦略	高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で安全・安心に暮らし続ける環境づくりのため、認知症高齢者の徘徊行動や障がい者を見守る体制の充実に取り組みます。

担当部	重点取組の4年間の総括及び今後の展望
健康福祉部	<p>①障がい者の見守り体制の充実のため、平成30年度から、障がい者サポーター制度を実施しており、現在、サポーターは1,792人、サポート企業・団体は21件となっている。障がいの特性や必要な配慮について市民の一定の理解が深まり、見守り体制の充実が図られており、引き続き、オンライン研修を中心とした取組に加え、サポーターの活動の場の提供や、取組が優秀な企業・団体の表彰を行う。</p> <p>②認知症高齢者の見守り体制の充実のため、徘徊の心配がある高齢者の事前登録（令和3年度未登録書数151名）を実施し、行方不明時には警察と連携し、八代市徘徊SOSネットワークを活用し早期発見・保護に繋げている。また、令和元年度からは、徘徊探知機（GPS）の購入に係る補助（相談件数27件・申請件数2件）を実施しているが、徘徊探知機（GPS）導入後のランニングコストが個人負担となる課題もある。今後も高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように認知症高齢者等の見守りに係る事業の周知を図り、利用しやすい制度となるよう検討を行う。</p>

■ 第1期基本計画で位置付けられた施策とその成果指標

施策名①		施策名②			
障がい者への福祉サービスの充実		介護保険事業の適切な運営			
指標名		H30	R1	R2	R3
障がい者への福祉サービスが整っていると感じる割合（％）	計画値	34.5	36.0	37.6	39.1
	実績値	28.9	29.1	40	35.8
高齢者への支援が整っていると感じる割合（％）	計画値	39.4	43.0	46.5	50.0
	実績値	34.4	34.9	43.9	39.4
居宅介護サービス受給者の割合（％）	計画値	54.4	54.9	57.6	60.3
	実績値	57.2	58.2	56.9	56.5

第2次八代市総合計画第1期基本計画（平成30年度～令和3年度）

重点戦略に係る取組内容等総括表

重点戦略	3 誰もが幸せを実感できる暮らしの実現
重点戦略	③ 高校3年生までの医療費無料化の実現
重点戦略	子育てにおける保護者の経済負担を軽減し、医療の受診機会の確保を通じて、子どもの健康保持と健全な育成を図るため、高校3年生までの医療費無料化の実現に努めます。

担当部	重点取組の4年間の総括及び今後の展望
健康福祉部	令和元年度10月診療分から、18歳（高校3年生相当）まで対象年齢を拡大しており、広く子どもの健康保持と健全育成、また保護者の経済的負担軽減につながっていると考える。

■ 第1期基本計画で位置付けられた施策とその成果指標

施策名①		施策名②			
施策なし		-			
指標名		H30	R1	R2	R3
指標なし	計画値	-	-	-	-
	実績値	-	-	-	-

第2次八代市総合計画第1期基本計画（平成30年度～令和3年度）

重点戦略に係る取組内容等総括表

重点戦略	3 誰もが幸せを実感できる暮らしの実現
重点戦略	④ 「健康づくり応援ポイント制度」による健康づくりへの支援
重点戦略	「健康づくり応援ポイント制度」の周知啓発を行い、市民の健康づくりへの積極的な取組を支援します。

担当部	重点取組の4年間の総括及び今後の展望
健康福祉部	<ul style="list-style-type: none"> 参加者アンケートでは、「健康づくりに取組んでいる」「取組む予定」と回答した人はR3年度では90.0%と高く、市民アンケートにおいても、健康づくりに関する取組が整っていると感じている人の割合も増加しており、市民の意識高揚に役立っている。 ポイント付与対象の見直しや地域団体・企業等の団体登録実施により、応募者数も一定数あり、継続した健康づくりへの取組成果がでている。 今後は地域団体・企業への事業周知を更に図るとともに、ポイント付与の場の拡大を検討する。また、若い世代が参加しやすい環境整備としてデジタル化を検討していく。

■ 第1期基本計画で位置付けられた施策とその成果指標

施策名①		施策名②			
健康づくりの推進		—			
指標名		H30	R1	R2	R3
健康づくりに関する取組が整っていると感じる割合 (%)	計画値	30.2	31.8	33.4	35.0
	実績値	30.2	28.3	44.4	39.5
適正体重を維持している人の割合 (%) (調査対象年齢：20歳～64歳)	計画値	66.4	66.8	67.2	67.6
	実績値	64.9	64	64.7	61.7

第2次八代市総合計画第1期基本計画（平成30年度～令和3年度）

重点戦略に係る取組内容等総括表

重点戦略	3 誰もが幸せを実感できる暮らしの実現
重点戦略	⑤ 「熊本県立県南高等支援学校（校名案：熊本県立鏡わかあゆ高等支援学校）」の誘致を実現
重点戦略	県南地域における特別支援教育の充実を図るため、「熊本県立県南高等支援学校（校名案：熊本県立鏡わかあゆ高等支援学校）」の誘致を実現します。

担当部	重点取組の4年間の総括及び今後の展望
教育部	<ul style="list-style-type: none"> 熊本県立鏡わかあゆ高等支援学校は、令和3年度4月に開校し、現在2年目を迎える。専門学科及び普通科一般学級に多くの生徒が在籍している。 県南地域に知的障がい対象の高等支援学校ができたことで、より進路選択の幅が広がり、特別支援教育の充実を図れることとなった。

■ 第1期基本計画で位置付けられた施策とその成果指標

施策名①		施策名②			
施策なし		-			
指標名		H30	R1	R2	R3
指標なし	計画値	-	-	-	-
	実績値	-	-	-	-

第2次八代市総合計画第1期基本計画（平成30年度～令和3年度）

重点戦略に係る取組内容等総括表

重点戦略	3 誰もが幸せを実感できる暮らしの実現
重点戦略	⑥ 「八代市学校・子ども教育応援基金」の創設
重点戦略	八代の未来を担う児童・生徒の学びを地域とともに支援するため、「八代市学校・子ども教育応援基金」を創設します。

担当部	重点取組の4年間の総括及び今後の展望
教育部	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度末に基金を創設し、平成30年度から寄附の募集を開始した。 寄附金額については、平成30年度と令和3年度は、企業からの多額の寄附があり、目標を大きく上回った。目標未達成の年もあったが、計画期間全体を通して見ると、目標を十分達成できた。引き続き、広く寄附を募るとともに、学校等の要望を踏まえ、効果的な活用を進めていく。

■ 第1期基本計画で位置付けられた施策とその成果指標

施策名①		施策名②			
施策なし		-			
指標名		H30	R1	R2	R3
指標なし	計画値	-	-	-	-
	実績値	-	-	-	-

第2次八代市総合計画第1期基本計画（平成30年度～令和3年度）

重点戦略に係る取組内容等総括表

重点戦略	3 誰もが幸せを実感できる暮らしの実現
重点戦略	⑦ 小学校の英語教育の充実
重点戦略	学力の向上と八代の未来を担うグローバル人材の育成を図るため、小学校の英語教育の充実に取り組めます。

担当部	重点取組の4年間の総括及び今後の展望
教育部	<ul style="list-style-type: none"> 学校教材充実事業により、外国語科の教師用指導書やデジタル教科書、ピクチャーカード等の教具を購入し、全小学校に配付した。指導者が授業でそれらを効果的に活用することで、児童が意欲的に学習に取り組む姿が見られている。 語学指導外国青年招致事業及び英語支援員の配置により、ALTが主に高学年の外国語科、英語支援員が主に中学年の外国語活動の授業を支援する体制を整えている。学級担任とALT、英語支援員のチーム・ティーチングによって、外国語の授業が円滑に進み、指導者の指導力及び英語力の向上につながっている。特に、また、多くの児童が授業以外の時間でもALTと触れ合うことを通じて、英語でのコミュニケーションの楽しさを実感することができている。 令和3年度に実施したNRT（標準学力検査）外国語の学力検査結果において、全国平均値をやや下回ったことから、今後は小学校外国語担当教員（英語専科教員や学級担任等）の指導力向上にも重点的に取り組んでいく。

■ 第1期基本計画で位置付けられた施策とその成果指標

施策名①		施策名②			
学校教育の充実		—			
指標名		H30	R1	R2	R3
子どもたちが授業を理解していると感じる保護者の割合（％）	計画値	48.3	49.6	51.0	52.3
	実績値	47.9	44.0	52.4	48.3
小・中学校でいじめ・不登校対策が整っていると感じる保護者の割合（％）	計画値	26.8	28.4	30.1	31.7
	実績値	24.8	25.1	27.2	31.6
全国学力・学習状況調査の平均正答率	計画値	8項目のうち2項目で全国平均を上回る	4教科のうち2教科で全国平均を上回る	4教科のうち2教科で全国平均を上回る	4教科のうち3教科で全国平均を上回る
	実績値	8項目のうち3項目で全国平均を上回る	4教科のうち2教科で全国平均を上回る	コロナのため中止	4教科のうち2教科で全国平均を上回る
小・中学校での不登校児童生徒の割合（％）	計画値	小：0.36以下 中：3.49以下	小：0.36以下 中：3.49以下	小：0.36以下 中：3.49以下	小：0.36以下 中：3.49以下
	実績値	小：0.56 中：4.28	小：1.11 中：5.74	小：1.24 中：6.12	小：1.67 中：9.16

第2次八代市総合計画第1期基本計画（平成30年度～令和3年度）

重点戦略に係る取組内容等総括表

重点戦略	3 誰もが幸せを実感できる暮らしの実現
重点戦略	⑧ 産後ケア事業の導入
重点戦略	産後も安心して子育てができる支援体制の確保を目的として、産後ケア事業の導入を進めます。

担当部	重点取組の4年間の総括及び今後の展望
健康福祉部	<ul style="list-style-type: none"> 産後の初期段階における母子に対する支援を強化し、産後うつや新生児への虐待予防を図り、産後も安心して子育てができる体制を確保するため、令和元年10月から事業を開始した。産後間もない産婦の母体の身体機能回復や授乳状況及び精神状況を把握するために、産婦健康診査を実施し、結果からケア等が必要とされる産婦に対し、心身のケアや育児サポート等を受けることができる産後ケアを実施している。 今後も必要とされる産婦への心身のケアや育児サポート等を充実させ母子に対する支援を強化することで「産後うつ」や「新生児への虐待防止」を図り、産後も安心して子育てできる支援体制を確保していく。

■ 第1期基本計画で位置付けられた施策とその成果指標

施策名①		施策名②			
施策なし		-			
指標名		H30	R1	R2	R3
指標なし	計画値	-	-	-	-
	実績値	-	-	-	-

第2次八代市総合計画第1期基本計画（平成30年度～令和3年度）

重点戦略に係る取組内容等総括表

重点戦略	3 誰もが幸せを実感できる暮らしの実現
重点戦略	⑨ 学校施設の非構造部材の完全耐震化
重点戦略	地震時における児童・生徒などの安全と大規模災害時の避難所の機能確保のため、学校施設の非構造部材の耐震化を進めます。

担当部	重点取組の4年間の総括及び今後の展望
教育部	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度から開始した学校施設の体育館、武道場の天井等における非構造部材落下防止対策を令和元年度までに完了させ、第1期基本計画の重点戦略に係る取組みは達成した。しかしながら、非構造部材は多岐に渡ることから、引き続き、幼稚園遊戯室、校舎内天井高6m超部分の天井等における非構造部材の落下対策を令和2、3年度に実施した。また、地震時における落下防止対策だけでなく、劣化による落下事故を未然に防ぐため、令和2年度から校舎外壁の調査点検を実施している。継続的な点検実施や点検結果に基づく改修を計画的に行っていく必要がある。

■ 第1期基本計画で位置付けられた施策とその成果指標

施策名①		施策名②			
施策なし		-			
指標名		H30	R1	R2	R3
指標なし	計画値	-	-	-	-
	実績値	-	-	-	-

第2次八代市総合計画第1期基本計画（平成30年度～令和3年度）

重点戦略に係る取組内容等総括表

重点戦略	3 誰もが幸せを実感できる暮らしの実現
重点戦略	⑩ 「子育て世代包括支援センター」による支援体制の強化
重点戦略	妊産婦や乳幼児などの状況を継続的・包括的に把握し、相談に対応するとともに必要な支援の調整や関係機関との連絡調整などを行い、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を提供します。

担当部	重点取組の4年間の総括及び今後の展望
健康福祉部	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年4月に設置した子育て世代包括支援センターを中心に妊娠・出産・子育てに関する相談に応じ、必要な保健指導等を実施するとともに、医療機関や子育て支援センター等関係機関と連携した支援を行っている。 今後もさらに関係機関との連携を深めるとともに、支援プランの策定により、産後うつ等の精神疾患や家族関係、経済状況等、母子が抱える課題など複雑困難化した課題に対応しながら、安心して子どもを産み育てられる環境を整えていく。

■ 第1期基本計画で位置付けられた施策とその成果指標

施策名①		施策名②			
妊産婦の健康支援		子育て環境の充実			
指標名		H30	R1	R2	R3
妊娠・出産期における保健サービスが整っていると感じる割合（％）	計画値	－	－	28.9	30.0
	実績値	－	－	38.4	34.9
子育て環境（相談や支援体制）が整っていると感じる割合（％）	計画値	－	－	32.7	35.0
	実績値	－	－	43.3	42.2
低出生体重児の割合（％）	計画値	－	－	8.2以下	8.1以下
	実績値	－	－	10.1	10.4(暫定)

第2次八代市総合計画第1期基本計画（平成30年度～令和3年度）

重点戦略に係る取組内容等総括表

重点戦略	3 誰もが幸せを実感できる暮らしの実現
重点戦略	⑪ 多文化共生社会の実現
重点戦略	日本人市民と様々な文化を持つ外国人市民が協働し、誰もが心豊かで安心して暮らせるまちづくりを推進するため、多文化共生社会の実現に努めます。

担当部	重点取組の4年間の総括及び今後の展望
市長公室	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校等での出前講座や「やさしい日本語」について学ぶ講座の開催、国際交流員との交流等の活動を通じて市民の理解促進に取り組んできた。また、市庁舎への多言語通訳システムの導入など、日本人市民・外国人市民が共に暮らしやすい環境づくりも進めている。 ・当初、令和2年度中の達成を予定していた「やつしろ国際協会」の設立、日本語教室の開設については、新型コロナウイルス感染症の影響で計画から遅れが生じたものの、「やつしろ国際協会」については、令和3年7月に設立総会、続いて同年10月に設立記念イベントを開催した。また、日本語教室についても、特色ある24課目のカリキュラムの作成や、交流型日本語教室の開設など、それぞれ令和3年度に着実に取組を進め、今後更に継続、発展させて行く予定である。 ・外国人市民は、今後も増加が見込まれることから、共生社会の実現に向けて、より一層理解促進に取り組む必要がある。引き続き、現在の取組を継続しつつ、活動の輪を地域全体に広げるためにも、中心的な役割を担う「やつしろ国際協会」の会員獲得、活動の充実に力を入れていきたい。

■ 第1期基本計画で位置付けられた施策とその成果指標

施策名①		施策名②			
人権教育・人権啓発の推進		—			
指標名		H30	R1	R2	R3
一人一人の人権が尊重されていると感じる割合 (%)	計画値	—	—	37.4	38.9
	実績値	—	—	45.9	41.3
市内で生活している外国人との関わりが増えてきたと感じる割合 (%)	計画値	—	—	26.8	30.0
	実績値	—	—	32.4	33.4